陳述文[1]における“来着”について

金　谷　順　子

0.

“来着”は、「かつてある事柄・状況が起こったことを表す」などといわれるが、その意味や用法について詳しい説明がなされてきたかというといささか疑問である。筆者自身、これまでどのような場面で“来着”を用いることができるのか分からず、中国人との会話中において“来着”を使用した経験はまずない。小稿では、これまで「口語によく見られる」、「北方の方言」などの理由からかあまり詳しく触れられることのなかった“来着”について、考察の対象を陳述文中の“来着”に限定し、その使用条件や意味・ニュアンス等についての検討を行うものである。[2]

1.

“来着”について、《现代汉语八百词》[3]には、

用在句末，表示曾经发生过什么事情。用于口语（北京话口语）。（文末に用いられ、かつてある事柄が発生したことを表す。口語で用いられる（北京口語）。）

とある。[4] 以下、例(1)は《实用》から、例(2)は《八百词》からの用例である。[5]

(1)　上午小王找你来着，你去哪儿了？

（午前中王くんがきみを訪ねてきたよ、きみはどこに行っていたの？）

(2)　他刚才还在这儿来着，怎么一转眼不见了。

（彼はさっきまでここにいたのに、あっという間にいなくなってしまった。）

次に、“来着”について日本の工具書では、（近い）過去における事件の発生を表す、すでに過ぎ去った時点の出来事を回想する、などとなっている。[6] ここでは回想を表すと思われる例を１つ挙げておく。

(3)　以前这里有学校来着。[7]

（以前ここに学校があったっけ。）

“来着”が回想を表すという記述は中国の工具書には見られないものであった。

小稿では、“来着”が回想を表すという説について詳しい検討は行わないが、例えば杉村（1994）p. 241 には、「疑問文に使うと近い過去における事件の回想を促す」という記述があり、

他说什么来着？（彼はどう言っていたかな）

谁发言来着？（誰が発言していた）

といった例が挙がっている。疑問文中における“来着”の意味を指摘している点で他のものと異なりをみせていた。相原・孟（1990）p. 199 にも疑問文に“来着”が用いられている例があり、「うっかりど忘れした時」と説明している。

她叫什么名字来着？（彼女は何という名前だっけ？）

电影几点开演来着？（映画は何時にはじまるんだっけ？）

以上が“来着”についての先行研究を簡単にまとめたものであるが、これだけではどのような場合に“来着”を用いることができるのか分かりづらいといえる。

2.

“来着”を用いた文では、一般に、例(1)の“上午”のような、時間を表す語を伴う。例(2)や(3)の“刚才”“以前”といった、明らかに過去の時間を表す語であることも多い。しかし、“来着”を用いた文で、時間を表す語を伴わない例も、多くはないが存在する。そこで、“来着”の基本義を考える上で、文中に特定の時間を表す語を伴わない例をみていこう。

(4) 李秀：（抓住父亲的手）哟，您手上怎么尽是面疙瘩啊？

李振民：（看看手，笑了）在食堂里做抻面来着。……[8]

（李秀（娘）：（父親の手をつかんで）あら、父さんの手、どうして粉のかたまりだらけなの？

李振民（父）：（自分の手を見て笑い）食堂でうどんを打っていたんだ。……）

例(4)は話劇の台本からの引用である。工場長である父親が、工場で残業している従業員に自らうどんを作って帰宅する。「うどんを打つ」という出来事は２人の会話時より以前に発生しているが[9]、父親の手にはまだ粉がついたままという客観的事実から見ても、それが過去とはいっても発話時からみて比較的近い時点だということが推測できる。

“来着”はさらに、出来事が発話時と限りなく近い過去において発生してい

たことを表すことがある。

(5) A：你在忙什么呢？

B：没什么，学习法语来着，你有什么事吗？

（A：きみ、忙しい？

B：べつに、フランス語の勉強をしていたんだけど、何か用？）

この会話中、Aはその眼前においてBがなにかを忙しそうにやっているのは確認済みで、Bにたずねている。つまり、Bが、Aに声をかけられる直前までなにかをしていたことは、傍観者的立場にあるAによって証明づけられることになる。そして、まさにBが“学习法语来着”と言ったその時点で、「フランス語を勉強する」という事は過去の出来事として捉えられているのである。

ところが、

(6) 他进来时，我坐在沙发上看书来着。没和他打招呼。这是十多年前的事情了。

（彼が入ってきた時、私はソファーに座り本を読んでいたわ。あいさつは交わさなかった。十数年前のことよ。）

例(6)では、母親が自分の子供に、父親との出会いを話して聞かせるような場面を想像していただきたいのだが、例(4)、(5)のように、出来事が発話時からみて、近い過去において発生したとは言い難いだろう。

しかし、インフォーマントによると、例(6)で“来着”を用いるのは、この事柄が十数年前のこととはいえ、話し手にとっては、鮮明な記憶としてつい最近の事のように思い出せるからであるという。

“来着”はまた、以下のような文章で使われることもある。

(7) A：你去年都干什么了？

B：没什么，学习法语来着，可只有一年学得不好。

（A：きみ、去年はなにをしていたの？

B：べつに、フランス語の勉強をしていたんだけど、たった一年ではうまく学べなかった。）

例(7)で、Bは「去年」の出来事について答えているのであるが、“来着”を用いるのは、話し手であるBが、去年大部分の時間をフランス語の勉強にあてたという、「出来事の継続時間」を重視しているというような気持ちからではないか、というインフォーマントの指摘であった。

また、

(8) A：小李，昨天你为什么没来？　昨天有考试，你也知道吧？

B：我发烧来着，所以不能来。

（A：李君、昨日はなぜ来なかったの？　試験があったのよ、あなたも知っていたでしょう？

B：僕は熱を出したんだ、だから来られなかったんだ。）

例(8)では、“来着”によって、「僕が昨日熱を出したのは、まぎれもない事実なのだ」という、話し手の、「出来事の発生」を重視する気持ちが表わされるという。

以上の用例から、まず“来着”が、時間を表す語を伴わずとも、出来事を過去において発生したものとして捉える働きを持つことを確認できた。そして、“来着”を用いた文は、前後に文脈を補う、会話の中に入れるなどの形をとりながら、一般には、発話時に比較的近い時点の過去において、出来事が発生したことを示すのに用いられる。しかし、発話時からみて遠い過去の出来事であっても、その出来事が話し手にとって、発話時に近づけて捉えられるような場合（近過去化）や、話し手が、過去における出来事の発生や、継続した時間を重視する場合にも、“来着”を用いることがある。

“来着”の基本的な意味・用法について述べたが、以下では、“来着”と共起し得る動詞[10]と、その際の使用条件や表される意味について具体的にみていくことにする。

3.

動詞に“有，在，是”を用いた場合をみてみよう。

(9)　这儿有个电视塔来着。

(10)　??我家有摩托车来着。[11]

(11)　我们学校在东京来着。

(12)　??他是个好丈夫来着。

“来着”を用いた文は、前後に文脈を補う、会話の中に入れるなどの形をとることは既に述べたが、これは、“来着”を用いた文が談話を指向する現れだといえる。従って、本来ならば例(9)から(12)はこのままでは成立し難い。しかし、インフォーマントによれば(9)、(11)の例は、前後の文脈等を伴わずに成立でき、それは、以下の例文中において、後続文で述べているような事が含意される場合であるという。

(9)′　这儿有个电视塔来着，现在没有了。

（ここにはテレビ塔があったが、いまはなくなってしまった。）

(11)′ 我们学校在东京来着，现在不在东京。

（私たちの学校は東京にあったが、いまは東京にはない。）

(9)′、(11)′の文では、建物が過去においてある一定の時間存在し続け、それが発話時には存在しない、つまり、状況が以前とは異なっていることを表している。(9)、(11)の例はこうした含みを持つために、単独で成立しやすいといえる。[12]

また、(9)、(11)の例は、発話時からみて遠い過去の出来事を表しやすい、とのインフォーマントの指摘がある。先に、“来着”は発話時から近い過去における出来事の発生を表すと述べたが、テレビ塔や学校の存在の有無が近い過去において発生することはあまりあり得ないという常識が働くのであろう。

(9)″ 小时候这儿有个电视塔来着。

(11)″ 几年以前我们学校在东京来着。

例(9)″、(11)″中のような“小时候”や“几年以前”といった、発話時からみて遠い過去の時点を表す語が用いられることはある。

さて、過去に発生した出来事を発話する時には、少なからず発話時の状況をも含意させているものであり、それは一般的な動詞や心理活動動詞を用いた場合にも共通するといえる。例えば(13)も、発話時とのなんらかの関連性を含むという点で、以下のような後続文を続けることも可能だといえる。

(13) 以前他恨他爸爸来着，{现在却和他住在一起照顾他}。[13]

（以前彼は父親を憎んでいたが、今は父親と一緒に住んで、彼の面倒をみている。）

ただその際には一般に、“来着”を用いた文中には時間を表す語が現れる。例(13)では“以前”がそれにあたる。しかし、発話時との関連性を含むとはいっても、

(13)′ ??以前他恨他爸爸来着，现在也恨。

（以前彼は父親を憎んでいたが、今も憎んでいる。）

とは言い難い。“来着”はあくまでも出来事を過去のものとして捉えるため、発話時の状況は、以前とは変化したものになっているという含みを持つ。例(14)のように“来着”を用いた文中に時間を表す語が現れなければ、“来着”が、発話時に比較的近い時点の過去における出来事の発生を示すのは先にも述べたとおりである。

(14) A：听说你喜欢成龙，我有些他的照片，给你。

B：我喜欢成龙来着，{可现在喜欢张国荣}。

（A：あなたジャッキー・チェンが好きなんですってね。私は彼の写真を

何枚か持っているからあげるわ。

B：ジャッキー・チェンは好きだったけど、いまはレスリー・チャンが好きなの。）

先ほど、⑽、⑿の例も単独では成立しづらいと述べたが、実は前後に文脈を補なう等の場合、多くは時間を表す語を伴い、発話時の状況が以前とは異なるという含みを持つ文になりやすい。

⑽′ 去年我家有摩托车来着，可今年５月被偷了。

（去年うちにはオートバイがあったのだが、今年の５月に盗まれてしまった。）

⑿′ 刚刚结婚的时候，他是个好丈夫来着，可现在不好了。

（結婚したばかりの頃、彼はいい夫だったのに、いまはいい夫ではなくなってしまった。）

4.

次に、“来着”が助動詞文で用いられる場合をみていく。ここでは説明の便のため主に“会”“可以”を用いる。

⒂ ??他会说日语来着。

⒃ ??这儿可以吸烟来着。

⒂、⒃の例は成立し難い。

⒄ 以前他会说日语来着。

⒅ 以前这儿可以吸烟来着。

時間を表す語を含む⒄、⒅は成立するが、過去における主体の状態を表しており、発話時との関連性も暗示するため、一般には、以下のような文が続くのは上で説明した通りである。

⒄′ 以前他会说日语来着，现在不会说了。

（以前彼は日本語を話せたが、いまは話せなくなってしまった。）

⒅′ 以前这儿可以吸烟来着，现在不行了。

（以前ここでは、タバコを吸うことができたがいまはだめである。）

次に、⒆、⒇を見ていただくとわかるように、⒂、⒃の文に“记得”“觉得”[14]を介入させることで成立可能となる。[15]

⒆ 我记得他会说日语来着。

（私は、彼が日本語を話せると記憶していたのだ。）

⒇ 我觉得这儿可以吸烟来着。

（私は、ここではタバコを吸うことができると思っていたのだ。）

“来着”は、ある出来事が発話時以前に発生したことを示すという点では動態的であると言えよう。ところが助動詞が表わすのは、能力・許可・可能性など、どちらかといえば静態的なものである。動態を示す“来着”と静態を意味する助動詞とでは相入れず、そこで“记得”等を介入させ、“来着”の意味上の焦点を助動詞からそらせることで、共起を可能にするのではないかと思われる。例えば⑲で説明すると、

⑲ ［我记得〔他会说日语〕］来着。

“来着”は、助動詞文を含む“记得”にかかるということを示すのだが、「私が、彼が日本語を話すことができる、と記憶する」事が、過去のある時点で発生していたことを表している。

さらに、前後の文脈によっては、

⑲′ 我记得他会说日语来着，可不知道为什么现在他不会说了。

（私は、彼が日本語を話せると記憶していたが、なぜだかわからないがいまは話せなくなってしまった。）

という、以前と発話時との状況の変化を意味することや、

⑲″ 我记得他会说日语来着，原来他不会说呀。

（私は、彼が日本語を話せると記憶していたが、もともと彼は日本語を話せなかったんだ。）

といった、記憶違いを表すこともある。[16]

例えば、⑳の“觉得”を“以为”に換えると、

㉑ 我以为这儿可以吸烟来着，原来不能啊。

と記憶違いの意味を表すのみであるし、以下のように“说”を用いると、

㉒ 学术报告，我说愿意去来着，可现在不愿意了。

以前と発話時との状況の異なりを意味するのみである。これは、“记得”“以为”“说”それぞれの語彙の持つ意味に関わるものであるかと思うが、ここでは例を挙げるにとどめる。

5.

“来着”は、ある出来事が発話時以前に確かに発生したことを示し、その出来事は発生から終了まである一定の時間持続するものであるため、一般には、瞬間動詞（生，死，结婚，离婚…）と呼ばれる、持続が不可能な動作を表す動詞とは共起し得ないと考えられる。[17]

㉓ *她1975年生来着。[18]

㉔ *他们在美国结婚来着。

過去に動作が発生済みであることが明らかな行為について、動作以外の事柄を際だたせるには、“是…的”文を用いれば十分成立するのであって、㉗、㉘のような“是…的”、“来着”を共に用いた文は成立しない。[19]

㉕ 她是1975年生的。

（彼女は1975年生まれだ。）

㉖ 他们是在美国结的婚。

（彼らはアメリカで結婚した。）

㉗ *她是1975年生的来着。

㉘ *他们是在美国结的婚来着。

ところが、㉗、㉘の例も、“记得”等を加えれば成立させることができる。

㉙ 我记得她是1975年生的来着。

（私は、彼女は1975年生まれだと記憶していたのだ。）

㉚ 我记得他们是在美国结的婚来着。

（私は彼らはアメリカで結婚したと記憶していたのだ。）

さきに4.の助動詞文のところで、“记得”等を介入させ、“来着”の意味上の焦点を助動詞からそらせることで、共起を可能にすると述べたが、ここでも、“记得”を用いることで、“来着”の焦点が直接は瞬間動詞に向けられないために共起が可能になるのだと考えられる。例えば、㉙では、“来着”は“是…的”文を含む“记得”にかかって、

㉙ ［我<u>记得</u>〔她是1975年生的〕］来着。

「私は、彼女が1975年生まれだと記憶する」ことが過去に発生していたことを表わしている。そして、その記憶していた事（“是…的”内の時間・場所・対象など）と発話時の状況とに異なりが生じたことを表すこともできる。たとえば、

㉙′ 我记得她是1975年生的来着，其实她是1978年生的。

（私は、彼女は1975年生まれだと記憶していたのだが、実は1978年生まれだ。）

というようにである。㉚も、

㉚′ 我记得他们是在美国结的婚来着，其实在北京。

（私は彼らはアメリカで結婚したと記憶していたのだが、実は北京でだった。）

と言うことができる。

6.

“来着”は、“本来”“原来”“还”等と共起することが多い。ここではその理由等について少し触れておきたい。[20]

“本”“本来”は、「もとは～、以前は～」という意味を、“原来”にも、同じように「以前には～、当初は～」を表す場合がある。出来事が過去において発生したことを示す“来着”が、以前はどうであったかを表す“本来”“原来”などと共起しやすいのもうなずける。また、“原来”は「いまはもうそうではない」ことも含意するという。[21] このことからも、“来着”の持つ、発話時との関連性と合致し、共起しやすくなるのだろう。

(31) 妈妈：你什么时候开始做作业，赶快做！

孩子：我本想看这个节目后就开始来着，你这么说我更不想做了。

（母親：おまえはいつ宿題を始めるの？　早くやりなさい。

子供：この番組を見終わったら始めようと思っていたのに、そう言われると余計やりたくなくなった。）

(32) 我原来一天喝三杯咖啡来着。

（私はもとは一日に三杯コーヒーを飲んでいた。）

“还”は、予想と結果とが異なる場合に用いられ、意外の語気を表わすことがある。[22] “来着”は発話時との関連性を含む。発話時以前と発話時とで、状況の変化が大きい場合は十分考えられ、そこで意外さを表す“还”を用いることが可能になるのであろう。

(33) 昨天她还夸我的衣服好看来着，怎么今天就跟你说我的衣服难看呢？

（昨日彼女は私の服がいいとほめてくれたのに、どうして今日あなたに、私の服がよくないと言うの？）

7.

以上、陳述文に用いられる“来着”について、その基本となる意味や、動詞との共起等について検討を行った。

“来着”を用いた文は、過去の時間を表す語を伴うことが多いが、それにより、発話時との関連性をも合わせもつことを意味し、少なからず以前と発話時とに状況の変化が生じたことを推測させる。従って、一般には単独では成立せず、前後に文脈を伴う、会話文の中に入れるなどする必要がある。“来着”は、

出来事が発話時から比較的近い過去において発生したことを示すが、遠い過去の出来事であっても、話し手にとって発話時に近づけて捉えられる場合であれば、“来着”を用いることがある。さらには、話し手が、発生した出来事やその継続時間を重視するような環境においても用いられる。

（注）

(1) 陳述文という言い方は《实用现代汉语语法》（以下《实用》と略称）p. 234 による。
“来着”用于陈述句末，表示不久以前发生了某件事情。
また、“来着”は陳述文の他に疑問文中においても用いられるが、紙幅の関係上今回は考察の対象を陳述文中に限定した。

(2) 小稿での考察対象は、共時的という意味での現代中国語に限っている。

(3) 《现代汉语八百词》は以下《八百词》と略称。

(4) 中国人研究者の手になる他の代表的な工具書もおおむねこのような記述であった。
“来着”についての説明で、《实用》では、陳述文中・疑問文中で用いられる場合の記述がある点で比較的詳しいといえる。また、《八百词》p. 311～ では、“来着”と“过”とを比較し、“来着”の成立条件を述べている。その他、“来着”とアスペクト助詞との共起について触れている辞書等もあり興味深いが、今回の考察には加えないものとする。
主な工具書等については一括して〈参考文献〉に掲載する。

(5) 用例は、書名を記したもの以外は作例であるが、すべてインフォーマントによるチェックを受けた。

(6) 主には、相原他1996、興水1985、杉村1994から引用。

(7) 相原茂・孟广学　1990『ニーハオ明明』p. 199

(8) 《中国现当代著名作家文库　苏叔阳代表作》河南人民出版社　1989　p. 135

(9) 以下、「発生」を用いた場合、出来事が過去のある時点で発生し、一定の時間持続して終了したということを意味する。

(10) 一般的な動詞については、これまでの用例中ですでに扱っており、ここでは重複を避けるため、それ以外の動詞との共起についてみていく。また、「一般的な動詞」とは、以下に挙げる動詞と区別する意味で用いたもので、特に深い意味は含まれない。

(11) ??マークのついている文は、インフォーマントによって、そのままでは成立し難いと判断されたことを示す。以下同様。

(12) 成立の条件としては、動詞“有、在”と目的語との意味関係を考える必要もあろう。

(13) 発話時の状況が以前と異なることを含意するのであり、「今は父親と一緒に住んで、彼の面倒をみている」というのも、一つの例に過ぎない。
｛ ｝中の例は、他の場合も想定できることを示す。以下同様。

(14) その他“想”“以为”などが用いられる場合もあるが、以下「“记得”等」で統一する。

(15) この現象は助動詞の場合に限ったことではなく、他の動詞の場合にも用いられることはある。例えば、

我以为你喜欢喝咖啡来着。

我觉得她有孩子来着。

我记得她是北京大学的学生来着。

ただし、助動詞の場合と、以下で挙げる瞬間動詞の場合に多くみられる現象だったため、ここで指摘した。

(16) 前後の文脈によって意味にゆれが生じる、というインフォーマントの指摘による。

(17) 宋1981に

"来着" 只能与非一次性动词相结合，不能与一次性动词相结合。

とあり、"一次性动词" の例として "生" "死" "参加（革命)" "上（大学)" 等が挙がっている。

(18) ＊マークのついている文は、インフォーマントによって非文と判断されたことを示す。以下同様。

(19) "是…的" と "来着" を共に用いた文でも疑問文にすると成立する。

他是什么时候死的来着？

她是哪年生的来着？

疑問文中に現れる "来着" に関しては、稿を改めて論じたい。

(20) "本来" "原来" "还" 等についてはそれぞれ《八百词》を参照。

(21) 《八百词》p. 566 による。

(22) 原由起子. 1987「〈還〉とその程度性」『日本語と中国語の対照研究』第12号

〈参考文献〉

相原茂・石田知子・戸沼市子. 1996『WHY？にこたえるはじめての中国語文法書』同学社

相原茂・孟广学. 1990『NHK楽しい中国語ニーハオ明明』日本放送出版協会

興水優. 1985『中国語の語法の話』光生館

『岩波中国語辞典』岩波書店　1963

李临定. 1990《现代汉语动词》中国社会科学出版社

刘月华・潘文娱・故韦华. 1983《实用现代汉语语法》外语教学与研究出版社（相原茂監訳. 1988『現代中国語文法総覧』くろしお出版）

吕叔湘主编. 1980《现代汉语八百词》商务印书馆（牛島徳次監訳. 1992『中国語用例辞典』東方書店）

太田辰夫. 1947「"来着" について」『中国語文論集語学篇元雑劇篇』汲古書院（1995）

杉村博文. 1994『中国語文法教室』大修館書店

史有为. 1994〈也说 "来着"〉《汉语学习》第1期

宋玉柱. 1981〈关于时间助词 "的" 和 "来着"〉《中国语文》第4期

《现代汉语常用虚词词典》浙江教育出版社　1992

《现代汉语词典》修订本　商务印书馆　1996
《现代汉语口语词典》辽宁人民出版社　1991
《现代汉语虚词例释》商务印书馆　1982
《现代汉语正误辞典》北京师范大学出版社　1993
《语文词典》北京教育出版社　1983

〈付記〉

小稿の執筆にあたり、インフォーマントとして夏蜀江さん・冀芳さん（共に北京出身）には快く、また根気強くご協力いただきました。この場をお借りして感謝の意を表します。

（筑波大学大学院）